

Naruto Translate Ep01 (Parte 01)

1- ^{むかし}〈昔、^{ようこ}妖狐ありけり。〉

[Há muito tempo, havia uma raposa espiritual.]

ありけり = Haste verbal de ある + けり. O auxiliar 「けり」 está sendo utilizado para criar um tempo passado de forma poética.

2- ^{ここの}〈そのキツネ^お九つの尾あり〉

[Essa raposa havia 9 caudas]

〜つ = contador genérico.

3- ^お〈その尾、^{いちど}一度^ふ振らば^{やまくず}山崩れ^{つなみた}津波立
つ。〉

[Essas caudas, uma vez quando “elas” se balançavam causavam desmoronamento de terra e levantavam de tsunamis.]

4- ^{こう}〈これに^{じん}困じて^{しの}人ども、^{あつ}忍びのやからを集
めけり〉

[As pessoas estavam preocupadas com isto, e então, um grupo de ninjas foram reunidos]

5- (忍び 1) ^{よんだいめ}四代目^くが来る^{あしど}まで足止めをかけろ！

Vamos manter o confinamento até o Quarto chegar/vir.

6- (忍び 2) ^{いじょういっぽ}これ以上一歩^{さと}も里^{ちか}に近づけるな！

Não deixem-no se aproximar da vila nem mais um passo.

7- ^{わず}〈僅^{ひとり}か一人^{しの}が忍び^{もの}の者、^{せいし}生死^かを懸^かけこれを^{ふういん}封印^しせしめる^{もの}が、その者^し 死^しにけり。〉

[Apenas um único ninja, ficou entre a vida e a morte pra forjar um selo “naquela coisa” porém, esse ninja acabou morrendo.]

僅か = apenas, meramente. [Advérbio]

8- ^{しの}〈その忍び^{もの}の者、^な名^{よんだいめほかげ}を・・・四代目火影^{もう}と申^すす〉

[Esse ninja, o seu nome... é conhecido como (chamado) O Quarto Hokage]

9- ^{なん}こらナルト！何^{ばちあ}ちゅう罰^あ当たり^あなことをしたんだ！？

Ei Naruto! Por que fez aquelas coisas desagradáveis!?

10- ^{きょう}今日という^{きょう}今日は^{ぜったい}絶対^{ゆる}許さんぞ!

Hoje mesmo não permitirei isso de forma alguma!

絶対 = de forma alguma (quando usado com neg.)

11- (ナルト) お前らさ・・・お前らさ、あんなマネできねえだろう。

Vocês... Vocês certamente não são capazes de fazer aquela mesma coisa.

だろう = “certamente”. Expressa uma grande quantia de certeza.

12- ^{おれ}だけど、俺には^{でき}出来る。俺はすごいんだってばよ!

Porém, eu sou capaz de fazer. Eu sou incrível!

13- (忍び) ^{たいへん}大変です。^{さんだいめ}三代目!

“Temos” um grande problemas. Terceiro!

14- ^{ほかげさま}火影様!

Grande hokage!

15- ^{さるとび}（猿飛） ^{なん}何じゃ？またナルトのヤツが ^{なに}何か
しでかしでもしたか？

O que é? Novamente o moleque Naruto fez
alguma traquinagem?

^しで
仕出かす = fazer bagunça/traquinagem.

16- ^{しの}（忍び）はい。 ^{れきだい}歴代 ^{ほかげさま}火影様たちの ^{かおいわ}顔岩
に・・・

Sim. Nas faces de pedra dos Grandes Hokages de
sucessivas gerações.

たち = sufixo pluralizador.

17- ^{おそ}恐れ ^{おお}多くも ^{らくが}落書きを・・・

Rabiscos muito horrendos...

18- ^ま（忍び）待って！

Espere!

19- ^{わけ}訳ないってばよ！

Nem pensar! (lit: Não há razão/motivo pra isso)

20- （イルカ）こら ナルト！！！！

Ei Naruto!!!

21- (ナルト) ^{とつぜん なに}突然何すんだってばよ イル
^{せんせい}カ先生？

O que está fazendo “surgindo assim”
repentinamente (do nada), Professor Iruka?

22- (イルカ) お前こそ ^{じゅぎょうちゅう}授業 ^{なに}中に何やってん
だ？

O que você estava fazendo durante o horário de
aula?

23- いいか？ナルト？お前は ^{ぜんかい}前回も ^{ぜんぜんかい}前々回も
^{そつぎょうしけん}卒業試験 ^おに落ちてるんだ。

Ouviu bem? Naruto? Você afundou (falhou) no
exame de graduação de ontem e também de
anteontem.

24- いたずらしてる ^{ばあい}場合じゃないだろう。ばか
^{やろう}野郎！

Nesta situação e você está fazendo travessuras,
não é? Grande idiota!

25- 今日の ^{きょう}授 ^{じゅぎょう}業 ^{へんか}は変化の ^{じゅつ}術 ^{ふくしゅう}の復習テスト
だ！

A aula de hoje será um teste de revisão da técnica de transformação!

26- ^{ごうかく}すでに合格している者^{もの}も^{なら}並べ！

Aqueles que já estão aprovados também alinhem-se!

27- ^{せいと}（生徒たち）えええ！

(Alunos) O queeeee!

28- ^{はるの}春野^いサクラ^{へんか}行きます！変化！

Haruno Sakura, aqui vou eu! Transformação!

29- よし！

Tudo certo!

30- やった！

Consegui!

31- 《しゃんなろ！》^{さすけくん}サスケ君、^み見てくれた？

{É isso aí!} Sasuke-kun, você viu? (lit: fez o favor de olhar?)

32- ^{つぎ}（イルカ）次！うちはサスケ。

Próximo! Uchiha Sasuke.

33- （サスケ）はい。

Sim.

34- よし。

Tudo certo.

35- (イルカ) 次！うずまきナルト。

Próximo! Uzumaki Naruto.

36- (シカマル) **まったく** しちめんどくせえ。

Francamente, extremamente um incômodo.

37- (いの) みんな あんたのせいよ。

É tudo sua culpa.

38- ^し知るかよ。

Eu sei, oras.

39- (ヒナタ) 《ナルト君、が・・・がんばって》

{Naruto-kun, de...de o melhor de si}

40- ^{へんか}変化！

Transformação!

41- ツハツハツハ！どうだ？^{なづ}名付けて おいろ
けの ^{じゅつ}術。

Hahaha! O que achou disso? Eu chamo de técnica da sensualidade.

42- (イルカ) この大^{だい}ばか^{もの}者！くだらん^{じゅつ}術を
つく^{つく}作るな！

Seu grande idiota! Não crie técnicas ridículas!

43- (ナルト) クソ・・・クッソ！

D...droga!

44- (イルカ) キレイにするまで^{いえ}家には返^{かえ}さん
からな。

Até você limpar, não retornará pra casa.

から = está indicando causalidade.

45- (ナルト) 別^{べつ}にいいよ！うちに帰^{かえ}ったって
だれ^{だれ}誰もいねえしよ。

Eu não ligo! Não se importa se eu voltar pra casa
não haverá ninguém mesmo.

ったって = não importa se/como, de qualquer
maneira. [Passado do verbo + って]

46- ナルト。

Naruto.

^{こんど} ^{なに}
47- 今度は何？

O que é dessa vez?

^{なん} ^{ぜんぶ}
48- (イルカ) まあ 何だ・・・それ全部

^{きれい} ^{こんど}
キレイにしたら、今度、ラーメンおごってやる。

Errr, que tal... quando isso tudo estiver limpo, desta vez, irmos comer rámen?

～たら = se, quando. Conjugação condicional do verbo.

^{がんば}
49- よし！俺さ 俺さ、頑張っちゃう！

Tudo bem! Eu vou acabar dando o meu melhor!

～ちゃう = acabar fazendo X.

^{さんじょう}
50- 【参上！うずまきナルト】

^{なん} ^{ところ}
51- (ナルト) ナルト。何で あんた所に
^{らくが}
落書きした？

Naruto. Por que você fez rabiscos naquele local?

52- ほかげさま 火影様が どういう人たちが分かってんだろ。

Você compreende que tipo de pessoas são os Hokages, não é?

53- (ナルト) あ 当ったりまえじゃん。

É óbvio né?

54- よう 要するに ほかげ なまえ う つ 火影の名前を受け継いだ人ってのは。

Em resumo, é dito que são pessoas que herdaram o nome/título de Hokage.

55- さと いちばん にんじゃ 里 一番の忍者だったってことだろ？

Dizem que “eles” foram os melhores ninjas da aldeia, não é isso?

54- とく よんだいめ さと ば まも 特に四代目って、里を化けぎつねから守った。

Especialmente o Quarto, que protegeu a aldeia da Raposa Demônio.

から = a partir de, de, da, do.

55- えいゆう 英雄らしいし。

Ele é como um herói.

56- (イルカ) じゃあ何で？

Hmmm, por quê?

57- (ナルト) この俺は いずれ^{ほかけ}火影^なの名を受
け^つ継いで

Eu, cedo ou tarde, herdarei o título de Hokage

58- んだよ ^{せんだい}先代の^{ほかけ}どの火影^こをも超えてやるん
だ！

E então, irei superar os Hokages anteriores!

59- でもさ ^{さと}でもさ、里^{おれ}にみんなに俺^{ちから}の力を
^{みと}認めさせてやんだよ。

Então, farei com que todos da aldeia reconheçam
a minha força.

60- ところでさ。先生^{せんせい}。

A propósito. Professor.

61- ^{ねが}お願い あんだけど。

62- (イルカ) お代わり^か？

Outra rodada?

63- (ナルト) んにゃ。木の葉の額当てちょっとやらして。

65- (イルカ) あ これか。ダメダメ。これは学校を卒業して

66- 一人前と認められた証しだからな。

67- お前は あした。

68- (ナルト) ケチ！

69- (イルカ) あアハハ・・・だから、ゴーグル外してたな？

70- (ナルト) お代わり！

71- (いるか) では これより卒業試験を始める。

72- 呼ばれた者は隣の教室に来るように。

73- なお課題は分身の術とする。

74- （ナルト）《ガン。よりによって 俺のいちばん苦手な術じゃねえか・・・》

75- 《でもさ でもさ、やってやるってばよ！》

76- 分身の術！

77- （イルカ）失格！

78- （ミズキ）イルカ先生。彼は身のこなしやスタミナは優秀ですし

79- これでも、一応分身の術はできてます。

80- 合格にしてあげても・・・

81- （イルカ）ミズキ先生。みんな、最低でも
3 人には分身してるんです。

82- でも、ナルトは たった一人。

83- しかも、これは足手まといになるだけです。

84- 合格とは認められません。

85- （トビオ）一人前だね 俺。

86- （トビオの父）よくやった。さすが俺の子
だ。

87- （トビオの母）卒業おめでとう、今夜はマ
マごちそう作るわ。

88- ^{じょせい}（女性 1）ねえ。あの子。

89- （女性 2）例の子よ。

90- （女性 1）一人だけ落ちたらしいわ。

91- （女性 2）いい気味だわ。

92- （女性 1）あんなのが忍びに になったら大変よ。だって ホントはあの子・・・

93- （女性 2）ちょっと！それより先は禁句よ。

94- （猿飛）イルカよ。後で話がある。

95- （イルカ）はい。

96- (ミズキ) イルカ先生は決して 意地悪してるわけじゃないよ。

97- (ナルト) じゃあ、何で俺ばかり・・・

98- (ミズキ) ナルト君には ホントの意味で強くなっほしいって 思てるんだよ。

99- 親のいない者どうし。

100- (ナルト) でも・・・卒業しなかったんだ。

101- (ミズキ) 仕方がないな。君に っておきの秘密を教えよう。

102- 【イルカよ・・・】

103 - 【何です？火影様】

104- 【お前の気持ちも分からんでもない。じやが、ナルトも同じ。親の愛情を知らずに育ってきたんじゃ】

105- 【放せ！父ちゃんと母ちゃんが まだ戦てんだ！】

106- （ミズキ）イルカ先生！起きてください！

107- （イルカ）どうしたんです？

108- （ミズキ）火影様の所へ集まってください。

109- どうやら、ナルト君が封印の書を持ち出したらしく。

110- （イルカ）な・・・封印の書ですって！？

111- （ナルト） えっと 最初の術は 「多重影分身」・・・

112- 何だよ！いきなり苦手な術かよ。

113- （ベッコウ）火影様、今度ばかりはいたずらでは済まされません。

114- （イワナ）封印の書は初代火影様が封印した危険なもの・・・

115- 使い方によっては・・・

116- （ヤジロベエ）もし里の外に持ち出されたら、それこそ一大事。

117- （猿飛）ナルトを連れ戻すのじゃ。

118- （イルカ）〈どこへ行った？ナルト？〉

119- （ミズキ） 〈このことを里に言い広め
その後ナルトを始末する。〉

〈そうすれば封印の書は俺のものだ！〉

120- （イルカ） こら！ナルト！

121- （ナルト） 見つかったか。

122- まだ術一個しか覚えてねえのに。

123- （イルカ） 〈ここで術の練習を？こんなに
なるまで・・・〉

124- （ナルト） あのさ あのさ！これからす
っげえ術 見せっからさ

125- それできたら、卒業させてくれよな。

126- この巻物の術を見せれば卒業 間違いねえんだろ？

127- （イルカ） 誰がそんなことを？

128- （ナルト） ミズキ先生だってばよ。

129- 巻物のことも この場所もミズキ先生が・・・

130- （イルカ） 〈ミズキだと！？〉